

## 事業進捗状況報告について

## 1 事業名

ひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称)整備事業(平成30年度審査事業)  
【所管部局：健康福祉部】

## 2 整備目的

県内における障害者スポーツの中核拠点である県立障害者スポーツ交流館(神戸市西区)の隣接地に新たな障害者スポーツ施設を整備して同館と一体的に運営し、障害者へスポーツに参加する機会を提供するとともに、県大会等の開催や指導者の育成などの中核拠点としての機能を充実させることにより、障害者スポーツのさらなる振興を図り、障害者の社会参加を促進することを目的とする。

## 3 整備概要

- (1) 整備場所 神戸市西区曙町1215-1ほか  
(県立総合リハビリテーションセンター内 特別養護老人ホーム万寿の家跡地)
- (2) 施設規模 鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)3階建て  
敷地面積：7,611.46㎡  
延床面積：7,828.27㎡
- (3) 施設概要

区分	規模等
アリーナ	バスケットボールコート2面、観覧席あり
温水プール	25m×6コース、観覧席あり
卓球室	常設卓球台6台(うちサウンドテーブルテニス用2台)
アーチェリー場(屋内)	射距離50m×6的
トレーニング室	トレーニングマシン25台程度 ※障害者スポーツ交流館から移転
研修室	指導者の研修や、競技団体の会議等に活用
資料展示スペース	県内パラリンピアンメダルのメダルや、競技紹介パネル等を展示
屋内駐車場	雨天時に車いす使用者が濡れないように整備 (車いす使用者用20台程度)
その他	更衣室、便所、救護室、事務室、機械室、電気室、ホール、ラウンジ、廊下等

## 4 整備費 約33億円

## 5 スケジュール

- 平成30年11月 基本構想
- 令和元年7月～令和2年10月 基本設計、実施設計
- 令和2年10月～令和3年3月 旧万寿の家解体工事(兵庫県社会福祉事業団事業)
- 令和3年度～令和5年度 埋蔵文化財調査、建築工事
- 令和5年度 供用開始

### 【平成 30 年度総合事業等審査会における審査結果】

世界的潮流であるソーシャルインクルージョンの一環となる障害者の社会参加の促進は、地方公共団体にとって重要な役割となる。さらに、障害者にとってスポーツは、リハビリや身体健康維持はもとより、日々の充実した暮らしや交流を育むために欠かせない存在となっている。また、東京 2020 パラリンピック競技大会やワールドマスターズゲームズ 2021 関西の開催を控え、障害者スポーツへの関心はますます高まっており、県内の障害者スポーツ大会への参加者も近年大きく増加している。

一方で、現在 2 箇所ある県立障害者スポーツ施設は、いずれも稼働率が高く、新たに障害者スポーツに関心を持った障害者の利用需要に十分に対応することができない状況にある。また、障害の程度等に応じて多様化している種目に、市町や民間の施設では応えることができない状況にある。

新たに整備予定の「ひょうご障害者総合トレーニングセンター（仮称）」は、アリーナや温水プールをはじめ、全国・県域レベルのスポーツ大会を開催できる充実した設備を備え、これまで対応できなかった多くのニーズに応えるとともに、隣接する障害者スポーツ交流館と一体となって、障害者スポーツの裾野拡大、そして障害者の社会参画にも寄与するものと考えられる。

さらに、総合リハビリテーションセンター内各施設と連携を図ることにより、パラアスリートの義足開発や動作分析、治療後の復帰支援、指導者の育成など、障害者スポーツの中核的拠点として、競技者への幅広い支援を展開していくことが期待される。

以上のことから、当事業の推進は妥当である。なお、事業推進にあたっては、次の点に留意すること。

- ① 施設の設計及びソフト事業等の検討にあたっては、障害者や関係団体など当事者の意見を最大限に取り入れること。
- ② 総合リハビリテーションセンターはもとより、他の幅広い関連施設との連携を含めた効率的事業推進に努めること。

## 総合事業等審査会審査結果への対応状況等一覧 (平成30年度審査事業)

事業名 (審査日)	審査結果	審査結果への対応状況等		
		審査時点での事業計画内容	実施段階での事業内容	
ひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称)整備事業 (H31.1.28)	<p>世界的潮流であるソーシャルインクルージョンの一環となる障害者の社会参加の促進は、地方公共団体にとって重要な役割となる。さらに、障害者にとってスポーツは、リハビリや身体の健康維持はもとより、日々の充実した暮らしや交流を育むために欠かせない存在となっている。また、東京2020パラリンピック競技大会やワールドマスターズゲームズ2021関西の開催を控え、障害者スポーツへの関心はますます高まっており、県内の障害者スポーツ大会への参加者も近年大きく増加している。</p> <p>一方で、現在2箇所ある県立障害者スポーツ施設は、いずれも稼働率が高く、新たに障害者スポーツに関心を持った障害者の利用需要に十分に対応することができない状況にある。また、障害の程度等に応じて多様化している種目に、市町や民間の施設では応えることができない状況にある。</p> <p>新たに整備予定の「ひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称)」は、アリーナや温水プールをはじめ、全国・県域レベルのスポーツ大会を開催できる充実した設備を備え、これまで対応できなかった多くのニーズに応えるとともに、隣接する障害者スポーツ交流館と一体となって、障害者スポーツの裾野拡大、そして障害者の社会参画にも寄与するものと考えられる。</p> <p>さらに、総合リハビリテーションセンター内各施設と連携を図ることにより、パラアスリートの義足開発や動作分析、治療後の復帰支援、指導者の育成など、障害者スポーツの中核的拠点として、競技者への幅広い支援を展開していくことが期待される。</p> <p>以上のことから、当事業の推進は妥当である。なお、事業推進にあたっては、次の点に留意すること。</p>	<p>① 施設の設計及びソフト事業等の検討にあたっては、障害者や関係団体など当事者の意見を最大限に取り入れること。</p>	<p>① 基本構想検討委員会委員として、パラアスリート2名、関係団体4名に入ってもらい検討を進めたほか、競技団体や聴覚・視覚障害者等の関係団体からの意見を聴取している。今後も当事者の意見を取り入れながら進めていく。</p>	<p>① 設計に際し、競技団体や障害者スポーツ交流館利用者の意見を聴取し、可能な限り当事者意見を設計に反映した。</p> <p>また、障害当事者から評価の高い県外施設の視察結果やチェックアンドアドバイス制度の福祉のまちづくりアドバイザーからの点検・助言についても、設計に反映させた。</p> <p>ソフト事業の検討においては、今後も当事者の意見を取り入れながら進めていく。</p> <p>(1) 施設利用者・競技団体等への意見聴取(随時実施) (主な相手方)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県車椅子バスケットボール連盟</li> <li>・兵庫県身体障害者アーチェリー連盟</li> <li>・障害者スポーツ交流館を利用するパラリンピアン(卓球)</li> <li>・ひょうご障害者スポーツ指導者協議会 等</li> </ul> <p>(2) 県外施設の視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市舞洲障がい者スポーツセンター(アミティ舞洲)</li> <li>・京都市障害者スポーツセンター</li> <li>・東京都障害者総合スポーツセンター</li> <li>・ナショナルトレーニングセンター・イースト</li> </ul> <p>(3) チェック&amp;アドバイス制度の活用 実施期間：令和2年4月13日～5月21日 【チェックアンドアドバイス制度】 福祉のまちづくり条例に基づき、病院、商業施設、銀行など多数の方が利用する施設について、県が登録する「福祉のまちづくりアドバイザー(建築専門家等)」をあつせんし、利用者目線から施設整備と管理運営に関して点検・助言を実施する制度</p> <p>(4) 主な設計への反映</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アリーナ アリーナの床材として、現在主流となっているタラフレックスではなく、車いす利用でも沈み込みの少ない木製床を採用</li> <li>・温水プール 当初設置予定のプールサイドのジャグジーについて、車いすでは利用しにくいという意見により設置を取りやめ、車いす移動に必要なスペース確保及び採暖室スペースを充実</li> <li>・卓球室 国際大会に向けた練習会場としても利用できるよう、床の色に国際大会色(赤色)を採用</li> <li>・アーチェリー場 屋内施設としては全国最大規模の射距離50mに対応</li> <li>・敷地内通路 通路(インターロッキングブロック舗装)の色は、同系色の濃淡が少なく凸凹に見えにくいものとし、弱視の方などに配慮 また、スロープと通路は明確な色分けにより存在の容易な識別に配慮</li> </ul>

事業名 (審査日)	審査結果	審査結果への対応状況等	
		審査時点での事業計画内容	実施段階での事業内容
ひょうご障害者総合トレーニングセンター（仮称）整備事業 (H31.1.28)	② 総合リハビリテーションセンターはもとより、他の幅広い関連施設との連携を含めた効率的事業推進に努めること。	<p>② 障害者スポーツ交流館との一体的な運営、総合リハビリテーションセンター内施設との連携の観点から、(社福)兵庫県社会福祉事業団を指定管理者とすることを想定し、効率的な事業推進に努める。</p> <p>しあわせの村などの他のスポーツ施設等との役割分担と連携のもと、施設環境を効率的に整備する。</p> <p>企業、大学、病院等との連携のもと、義足等の開発や治療後の復帰支援などアスリートを総合的にサポートする施設として整備する。</p> <p>(参考)基本構想における整備の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ しあわせの村などの他のスポーツ施設等と連携し、役割を分担して、障害者スポーツの振興や健康・長寿を支える施設環境を効率的に整備する。</li> <li>・ 総合リハビリテーションセンター内の各機関や企業、大学等と連携し、パラアスリートの義足の開発や動作分析、リハビリテーション中央病院でスポーツ障害の治療体制が構築された上は、治療を終えたアスリートの復帰支援など、アスリートを総合的にサポートする施設とする。</li> </ul>	<p>② 近隣施設の状況、用地の制約等を総合的に勘案して、屋内競技の設備を優先整備し、観覧スペース付きアリーナやプールなどを整備予定の当施設と、一定の広さが必要な屋外競技設備や宿泊施設等を有する神戸市しあわせの村との間など、当施設及び障害者スポーツ交流館と他施設の互いの強みを活かし、相互連携による全国大会の開催などが可能となるよう、さらなる協力体制の構築等について検討を進め、障害者スポーツの振興や健康・長寿を支える施設環境の効率的な整備に努める。</p> <p>また、義足等の開発や治療後の復帰支援などアスリートを総合的にサポートするための体制整備に向けては、総合リハビリテーションセンター内で、リハビリテーション中央病院におけるスポーツ医学診療センターが開設された。(令和3年4月1日)</p> <p>効率的な事業推進を行うため、令和3年度から、指定管理者として想定している(社福)兵庫県社会福祉事業団とともに、供用開始に向けた施設運営に関する検討委員会において、関連施設との連携を含めて、具体的な検討を行う予定としている。</p>

1 背景・目的

- ・障害者スポーツの活発化 県内障害者スポーツ大会参加者：延べ約 7,700 人 (H25) →約 39,900 人 (H30)
- ・県立障害者スポーツ交流館に隣接する福祉施設「万寿の家」の移転
- 障害者スポーツのさらなる振興を目的として、多くの県民にスポーツに参加する機会を提供するひょうご障害者総合トレーニングセンター（仮称）を整備

2 設計コンセプト

(1) 活気・賑わいの表出と周辺住環境への配慮を両立

- ① 既存スポーツ交流館のある東側を開放的に設え、賑わいを見せる外観デザイン
- ② ボリュームの大きいアリーナを南側に配置し、北側の住宅地の日照、景観に配慮

(2) メイン廊下を軸とした 利用しやすく居心地のよい共用スペース

- ① 南北に貫くメイン廊下から全ての機能にアクセスできる、明快な動線計画
- ② 吹抜けを介して2階とつながる、明るく開放的なエントランスホールと交流ラウンジ

3 新施設の機能

(1) 「障害者スポーツ交流館」の機能拡充

- ・アリーナ（バスケットボールコート2面）
- ・トレーニング室

(2) 新たに導入する機能

- ・温水プール（公認 25m×6 コース）
- ・卓球室（STT\*対応、計6台程度）
- ・アーチェリー場（射距離 50m×6 的）
- ・研修室（2室分割可）

※STT：Sound Table Tennis



東側正面外観イメージ

4 施設概要

(1) 建設場所：神戸市西区曙町 1215-1 県立総合リハビリテーションセンター内（「万寿の家」跡地）

敷地面積：約 7,611 m<sup>2</sup>

用途地域：第1種中高層住居専用地域

(2) 構造・規模（予定）

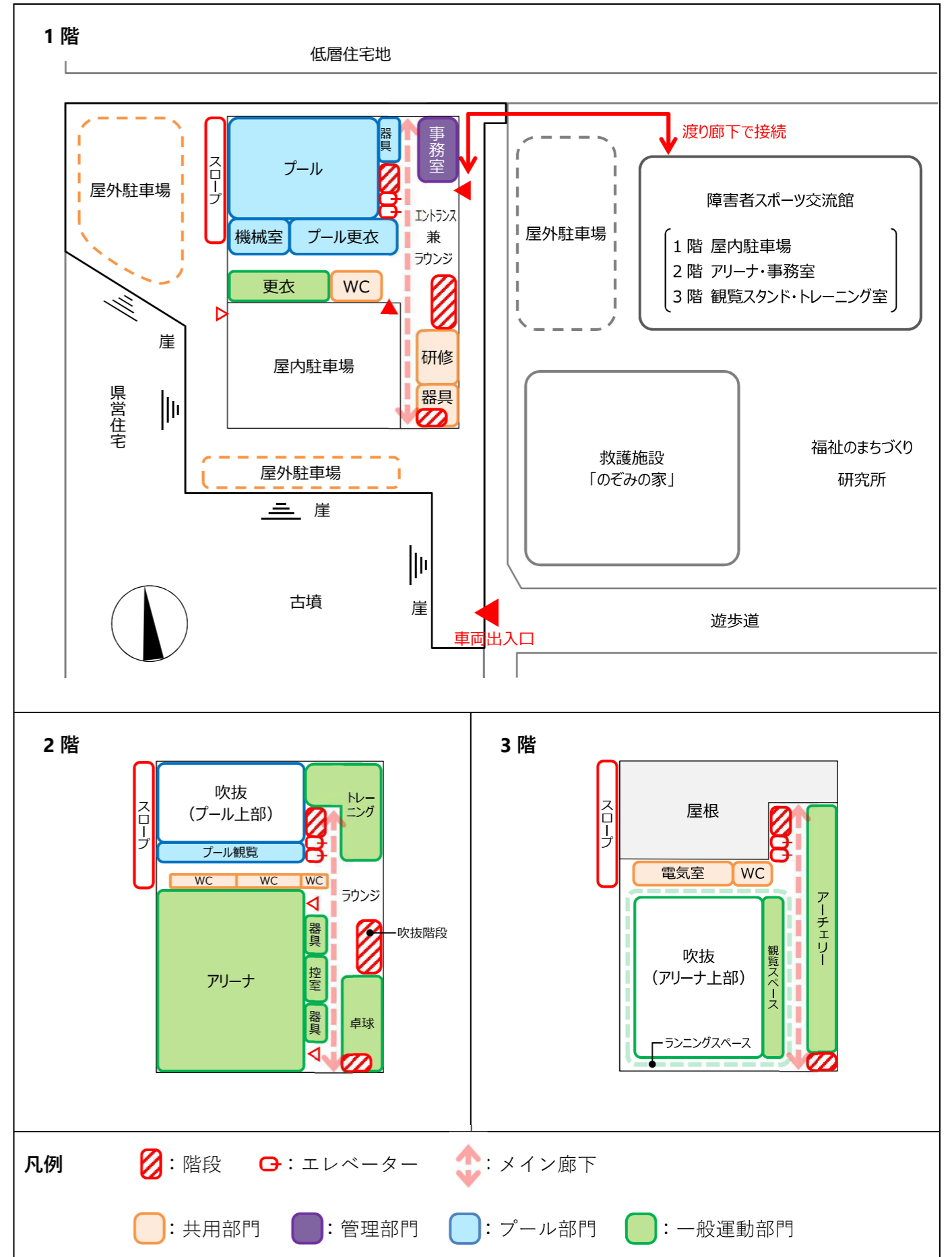
鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）3階建て 延べ面積 約 7,827 m<sup>2</sup>

(3) 総事業費：約 33 億円（設計監理費 約 1 億円、建設工事費 約 32 億円）

5 整備スケジュール

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
基本設計	■				
実施設計		■			
「万寿の家」移転		■	■		
埋蔵文化財調査			■		
建設工事				■ 24ヶ月	
備品整備					■
供用開始					●

6 平面計画(基本設計)





■鳥瞰パース：北東より



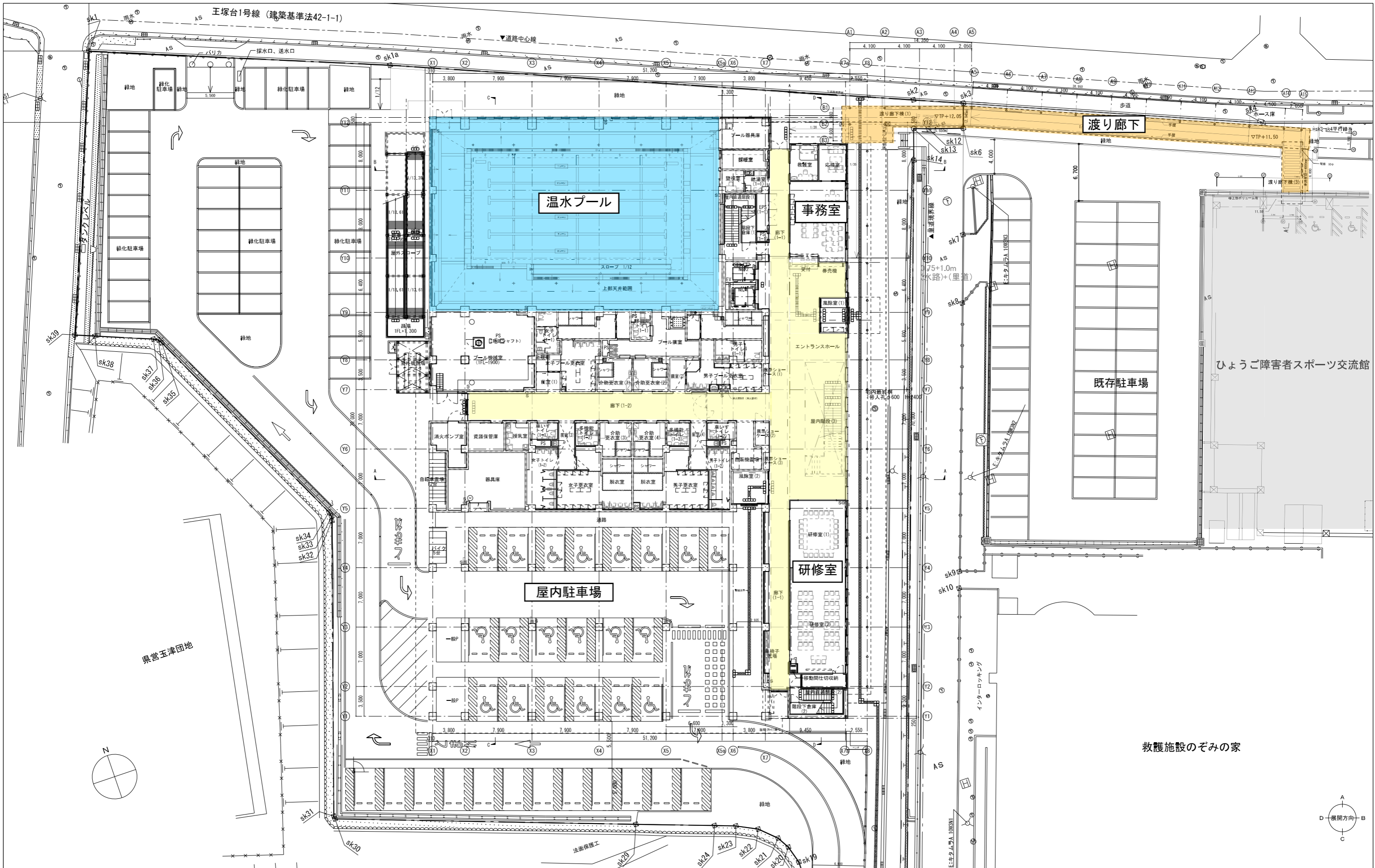
■内観パース：エントランスロビー(1)



■外観パース：渡り廊下より

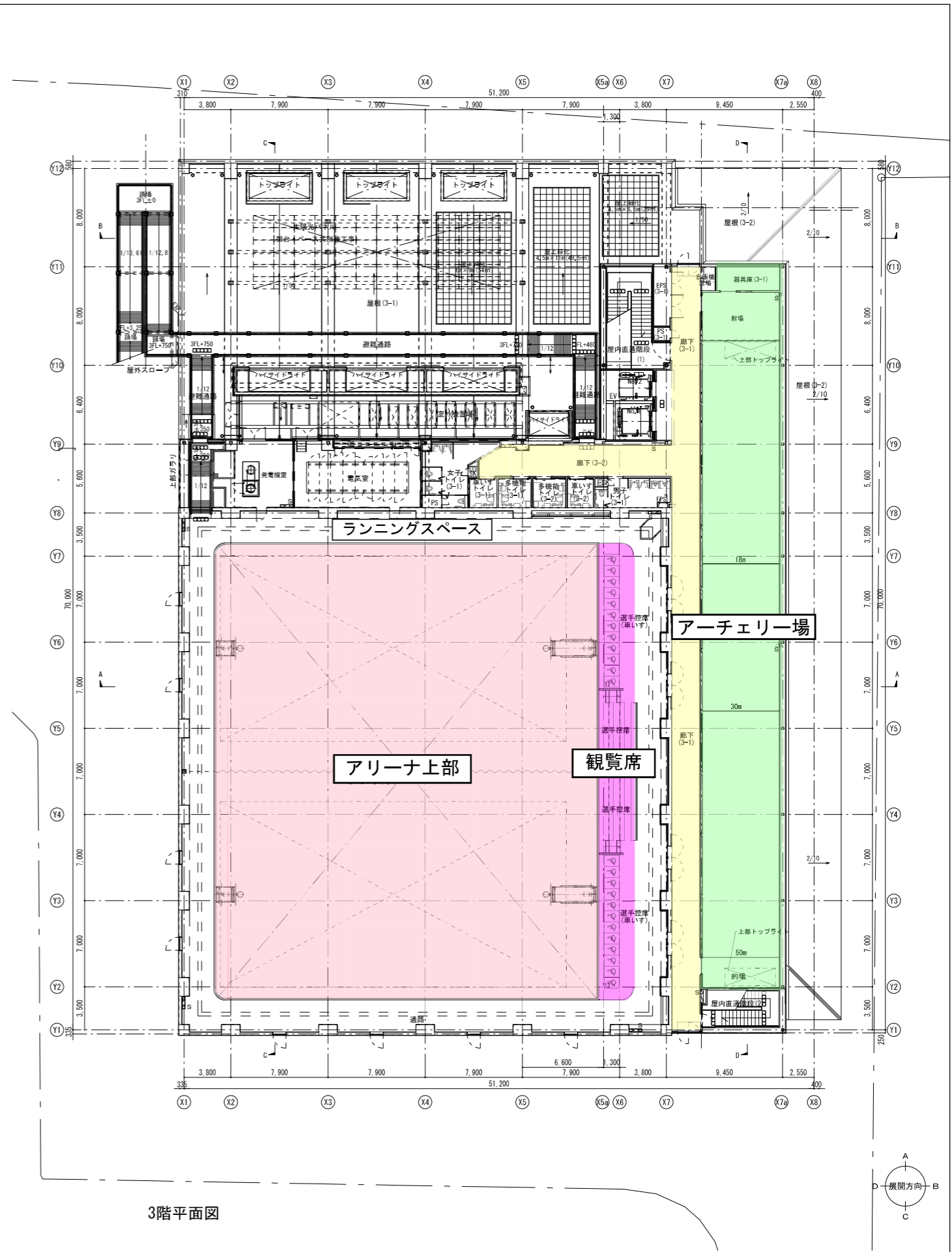
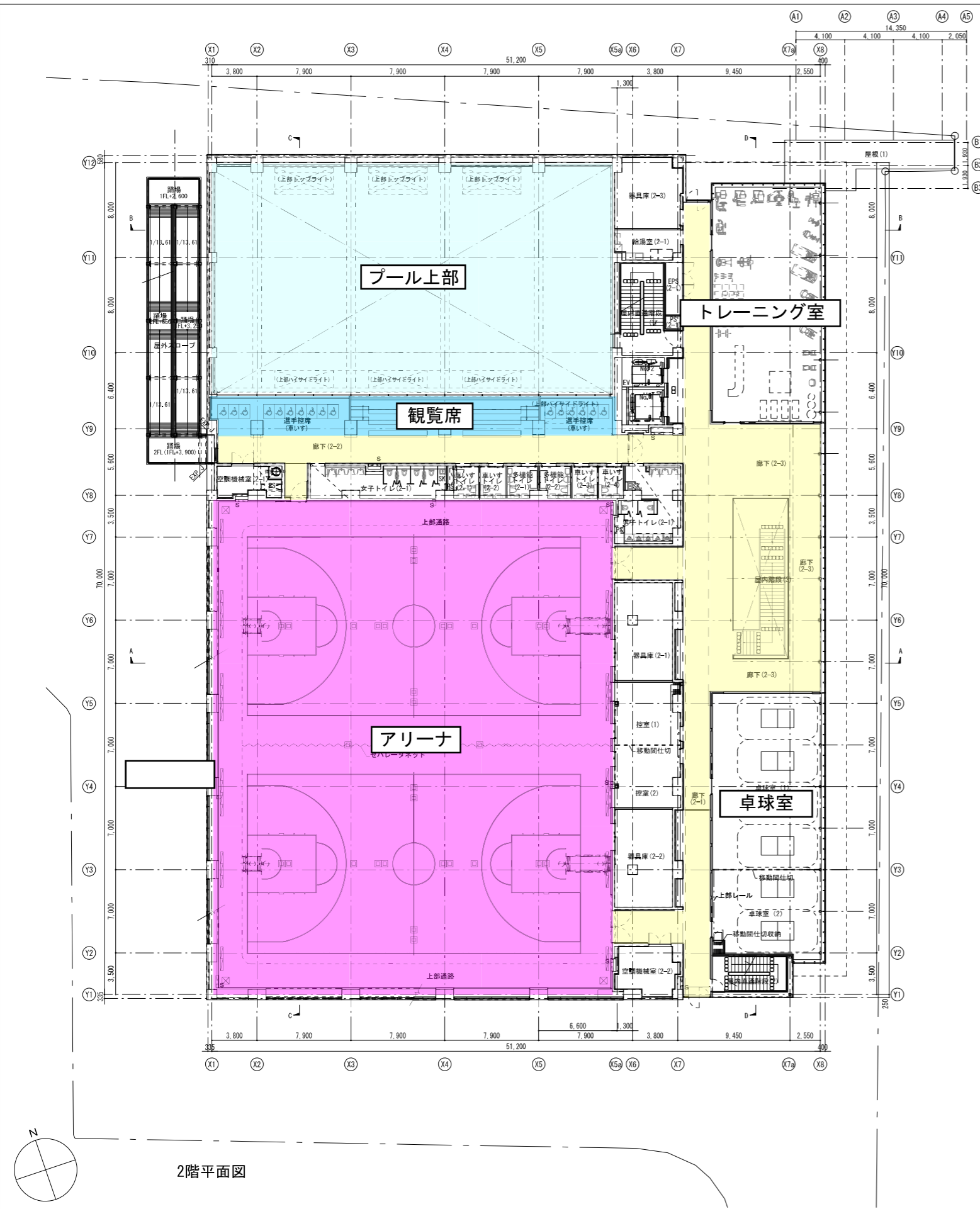


■内観パース：エントランスロビー(2)



ひょうご障害者総合トレーニングセンター（仮称）

1階平面図（縮尺1/400）



ひょうご障害者総合トレーニングセンター（仮称）

2階、3階平面図（縮尺1/400）